

株式会社オズベックへの事業承継投資実行

— 複数の個人株主に分散した株式を集約して取得した事業承継支援事例 —

AJ キャピタル株式会社

<https://www.ajcap.co.jp/>

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：谷川 啓、本店：東京都千代田区）と日本アジア投資株式会社（代表取締役社長：下村 哲朗、本社：東京都千代田区、以下「JAIC」）が共同設立したファンド運営会社である AJ キャピタル株式会社（以下「当社」）は、無限責任組合員として運営する事業承継ファンド「サクセッション 2 号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を通じて、建設・プラントエンジニアリング・不動産分野に特化して施工管理技士や建築士の人材派遣・紹介業を行う株式会社オズベック（本社：東京都港区、代表取締役：瀧嶋 誠司、以下「オズベック」）の全株式を、筆頭株主である瀧嶋誠司氏及び創業時から現在にかけてご支援いただいた個人株主（21 名）より取得し、事業承継を完了致しました。

今回の投資が、当ファンドからの第 2 号案件となります。

当ファンドが事業承継したオズベックは、2005 年 7 月に瀧嶋氏が前職の人材派遣部門を分離独立して設立された企業です。同社は大手ゼネコンとの安定した取引を基盤とし、瀧嶋氏が代表取締役社長として設立当初より 18 年に亘り経営されています。今般、瀧嶋氏が承継先を探される中で掲げられていた次世代への承継を行い更なる飛躍を目指すという方針が、後継社長をサポートしながら次世代の人材育成を目指すという当ファンドの方針と一致したことから、投資実行に至りました。瀧嶋氏には当面の間代表取締役社長として、以後も会長としてオズベックの経営・営業をサポートいただく予定です。

オズベックの人材サービスが専門とする建設業界は、2024 年 4 月から労働基準法の改正による時間外労働の罰則付き上限規制が適用されることから、昨今人手不足が問題となっている日本社会の中でも特に深刻な状況にあります。そのため、オズベックのサービスに対するニーズが更に高まり、同社の外部環境は追い風になると当ファンドでは見込んでおります。また、オズベックでは全国（特に東日本）での派遣・紹介実績もあり、オズベックの存在は、地域のインフラ整備を支える必要不可欠な機能の一つであると考えております。当ファンドは、オズベックの更なる成長に向けて、同社の課題である内部管理体制構築や、次世代の人材育成体制の拡充、西日本の案件獲得などへ向けた営業体制強化などをサポートしてまいります。

当社は全国の地域金融機関とも連携し、従来の投資ファンドではあまり投資対象として検討しなかった、企業価値で 10 億円未満のスマールキャップゾーンを投資ターゲットとする事業承継ファンドを運営しております。今後も、地域経済の核となる中小企業の円滑な事業承継を、当ファンドを活用

して支援していくことを通じて、地域創生や地域活性化に貢献し我が国経済の発展に寄与していく所存です。

<オズベック社について>

商号	株式会社オズベック
所在地	東京都港区浜松町1丁目29番10号 東京ラインビル3階
代表取締役	瀧嶋 誠司
設立	2005年7月29日
資本金	30百万円
事業内容	建設・プラントエンジニアリング・不動産の業界に特化した人材サービス業

<当社について>

名称	AJ キャピタル株式会社
所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
代表取締役社長	小林 正行
設立年月日	2018年4月24日
資本金	20百万円（含む資本準備金）
株主構成	あおぞら銀行 50%、日本アジア投資 50%

<当ファンドについて>

ファンド名称	サクセッション2号投資事業有限責任組合 (英文表記 Succession Investment Limited Partnership, II)
所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
ファンド総額	43.01億円
ファンド設立日	2022年8月16日
無限責任組合員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、阿波銀行、愛媛銀行、鹿児島銀行、岐阜商工信用組合、京葉銀行、荘内銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行、日本アジア投資、北都銀行、ゆうちょ銀行
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

以 上